

## 日本原子力学会シニアネットワーク連絡会（SNW）

### 第 23 回 SNW シンポジウムのご案内

# エネルギー安全保障の強靱化が我が国の生命線 ～原子力発電の持続的最大の限の活用を目指せ～

欧州では脱炭素政策による化石燃料開発への投資が停滞するなかで、2021 年春頃よりコロナ禍からの経済回復でエネルギー需要が伸長し電力需給の逼迫が生じました。この様な状況下、ロシアのウクライナ侵攻が世界の分断と対立を招き、世界のエネルギー資源価格が同時多発的に高騰して資源の安定的確保が困難な状況に陥っています。欧米主要国ではこの世界的エネルギー危機に対応して、エネルギー安全保障の強化を最優先課題として取り組んでいます。

我が国では、2022 年 3 月頃より顕著となった電力逼迫に対応して「脱炭素電源である原子力発電の最大限活用を目指す」ことが宣言されました。更に、グリーントランスフォーメーション（GX）実行会議の成果として「再稼働加速、運転期間延長、新增設リプレース/次世代革新炉の開発建設、バックエンド対策推進」を閣議決定しました（2022 年 7 月）。この決定は過度な再生可能エネルギー依存の非現実性を認識し、積極的に原子力を活用することによりエネルギー安全保障を確実にすることを目指す政策の大転換と言えましょう。

資源小国である我が国は、改めてエネルギー安全保障の重要性を喚起した現下の国内外のエネルギー危機を重く受け止めねばならないと考えます。原子力が持続的、安定的に基盤電源であり続けるには、原子力発電所の再稼働加速と新增設推進、及び高レベル放射性廃棄物処分場確保などの政策推進のため、制度設計を含めた基盤的政策を機動的に展開することが必要です。これらの実現には強力な司令塔としての政府の役割や産業界が真剣に取り組む姿勢と覚悟並びに衆論の非を正す活動などの一連の取組が不可欠なことは言うまでもありません。

今回のシンポジウムでは、この重大な節目にあたり「エネルギー安全保障の強靱化のための原子力の持続的最大の限活用」を最重要課題として提起します。その上でエネルギー問題の専門家に参集願ひ、今後の取り組み課題と展望を深掘りして頂き議論の要点を広く発信する予定です。

皆様には、是非、シンポジウムにご参加いただき、我が国のこれからのエネルギーの将来について共に理解を深めて頂きたくご案内申し上げます。



## 参加登録にあたって

シンポジウム参加費（会場借用料等として）：

- ◇ 原子力学会員：1,000 円（不課税）、原子力学会員以外：1,000 円（税込）  
（学生、プレスは無料）
- ◇ 講演資料は各自 WEB よりダウンロード願います。（8 月末頃改めてご連絡  
します）

懇親会参加費：3,000 円（学生、プレスは無料）

参加登録と参加費の払い込み：申込締切 8 月 27 日（日）

参加ご希望の方は、日本原子力学会シニアネットワーク連絡会 (SNW) ホーム  
ページより参加登録下さい。

- ◇ SNW ホームページのトップページ (<http://www.aesj.or.jp/~snw/>) にアク  
セスする。
- ◇ シンポジウムのページよりお申込み下さい。お申込み後、1 週間以内に  
所定の口座に参加費及び懇親会参加費（懇親会も参加の方）をお振込願  
います。なお、振込手数料はご負担願います。（懇親会に参加される方は  
振込手数料が 1 回となるようまとめてお申込み下さい。）
- ◇ 当日は支払終了後送付される登録番号を受付にご提示の上、領収書をお  
受け取りください。
- ◇ お振込みいただいた参加費、懇親会費等はご返却できませんので、予め  
ご了承願います。

備考 原子力学会会員の皆様へ

本シンポジウムは原子力学会 CPD 対象です。CPD 登録を希望される方は、  
参加登録に際し原子力学会会員番号を記載してお申し込み願います。

\*\*\*\*\*

### 会場アクセスマップ

東京大学本郷キャンパス・武田先端知ビル 千代田線根津駅 徒歩 5 分  
南北線東大駅前 徒歩 7 分

